

滋賀県レイカディア大学同窓会 令和4年7月25日

滋賀県レイカディア大学

同窓会 甲賀・湖南支部

発行責任者 林 弘實

甲賀・湖南支部だより 第33号

目次

- ・ 支部長就任あいさつ (33期 陶芸 林 弘實)・・・P2
- ・ 支部長退任あいさつ (36期 園芸 本田 秀信)・・・P3
- ・ 本部表彰(米寿)受賞者(5名の方々)・・・P4
- ・ 令和4年度 甲賀・湖南支部 定期総会報告(37期 地文 村上 多津美)・・・P9
- ・ 令和4年度 県 定期総会報告 (37期 地文 村上 多津美)・・・P10
- ・ 支部体育部の活動予定 (38期 園芸B 吉治 孝和)・・・P11
- ・ 里山ハイキング同好会報告 (31期 地文 高山 雅史)・・・P12
- ・ レイ大同窓会 甲賀・湖南支部グランドゴルフ同好会(世話役 吉治 孝和)・・・P13
- ・ 青春18きっぷの旅同好会 活動計画・・・P14
- ・ 令和4年度 里山ハイキング同好会 活動計画・・・P14
- ・ 編集後記・・・P15



支部長就任あいさつ

33期 陶芸 林 弘 實



今年度の甲賀・湖南支部の支部長の役を受けることになりました林です。同窓会の活動が少しでも楽しく盛り上がる様な方向に進めて行きたいと思っております。会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

先ず初めに皆様にお詫び申し上げねばなりません。私自身の不注意で入院治療をせざるを得なくなりました。会議や行事に出席出来なくなり、会員の皆様方、特に三役、理事の方々には迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。ご協力頂いた皆様に感謝の日々を送っております。

さて、今年度の進め方については昨年度の副支部長の経験から理事をはじめ会員皆様の意見を取り入れて行きたいと思っております。

「役員、理事の皆様の負担軽減、会合回数や対象人数の削減等」

「共通の趣味を持つ人の同好会追加発足（現在は3グループ、新たに音楽（歌など）物づくりや美術（絵画など）等」が出来れば素晴らしいなと思っております。それには事前に話し合いを持って計画をオープンにして仲間を募って体制づくりに取り組む事だと思えます。

皆様の「思い」を出し合ってください。仲間と力を合わせて同窓会の運営を進めて行きましょう。



支部長退任あいさつ

36期 園芸 本田 秀信



令和3年度は新型コロナウイルスの第4波、第5波、第6波と押し寄せてきました。予定していた行事が10月まではほとんど出来ない状況でした。第5波と第6波の間の11月から12月のコロナが収束した期間に集中して行事を一気に組みましたが、バス利用の研修旅行は感染防止のため断念せざるを得ませんでした。メイン行事であります、作品展、新入会員歓迎会は予定期日を1カ月遅らせて実施することが出来、成功裡に終わることが出来ました。みなくち子ども森でのボランティア活動は感染防止の観点から理事のみで実施致しました。グラウンドゴルフ大会は、秋のみの開催となりました。

里山ハイキング、グラウンドゴルフ同好会活動は、コロナ禍を考慮しながら開催されました。感謝いたします。

本部行事として、地域活動事例発表会には、村上多津美さんが、”ふれあいサロン「ふらっと」での紙芝居上演”を発表されました。また、同窓会40周年創立行事としてグラウンドゴルフ大会に参加し、当支部は準優勝と輝かしい成果をあげることが出来ました。

4月15日の支部定期総会、ならびに5月11日の本部定期総会が無事終わることが出来ました。任期を無事終わることが出来、理事さん含め皆様方のご協力に感謝いたしております。

最後に会員の皆様方のご健勝と同窓会活動の発展を祈念して退任のあいさつと致します。



令和4年度長寿（米寿）慶祝者の皆様（敬称略）

22期	スポーツ学科	橋本 黄市	(水口)
23期	スポーツ学科	谷底 寿鶴 惠	(水口)
23期	園芸学科	橋本 元夫	(甲賀)
25期	園芸学科	瀬古 松久	(甲賀)
31期	園芸学科	徳地 悦朗	(信楽)

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う和を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会

「米壽を迎えて」

22期 スポレク 橋本 黄市

私は昭和10年生まれで、お陰様で健康に恵まれ、当年満88歳の年を迎えさせて頂きました。

私は10歳、国民学校3年生、昭和12年3月10日の東京大空襲の戦災に遭い、父の故郷水口に疎開し、今日に至っています。幸いに、地元の高校を卒業し、地元金融機関に40年余り務めさせて頂きました。

平成11年第22期スポレク学科に入学し16名の仲間と草川先生指導のもとに、レクレーションダンス、シンキングゲーム等々楽しい2年間の学生生活でした。

卒業後もお互いの親交を深めるため北海道、九州旅行、県内日帰り旅行なども懐かしいレイカ大学の思い出です。

又、卒業後スポレクで学んだことを地域の皆さんに伝えようと水口中央公民館を会場に同期の木田勝彦さんと、先輩の岡川さん、前出さんを先生として、「みなくちさわやかレクダンスの会」を立ち上げました。その間、開催が300回を記念に次世代に継承して退任しました。現在も活動が継続されレイカ大学の思いが地域に根付いていますこと喜んでいきます。

又私、水口の伝統工芸水口細工の復興の活動について、平成27年11月18日近江八幡市ひまわり館ホールで、パワーポイントを用いて発表させて頂いたことも同窓会皆様のご協力のお陰です。

私、米壽を迎えて、その間「あっという間に過ぎた」感じでした。この世に生を受け、父母の苦勞と妻（スポレク27期生、昨年12月没）の献身的支え、社会の皆様方のご支援と暖かいご厚情を頂いたお陰様で今日を迎えられたと感謝いたしています。この度は同窓会の皆様から長壽のお祝いの記念品とお言葉を戴きまして誠に有難うございました。

最後になりましたが同窓会の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



「米寿を迎えて、今一度人生を振り返ると」

22期 園芸学科 橋本 元夫

6月23日をもって米寿を迎える事になりました。
特別な生活をして来た訳ではありませんが、人生を振り返って見て今感じている事を述べさせていただきます。

1. 良き伴侶に恵まれたこと。

27歳の時 どうしてもこの人でなければいけないと決めて結婚しました。それから今日まで良き理解者として夫婦円満に来られたこと。

2. 仕事、職場を変わることなく一生懸命働いて来たこと。

時には辞めたい事もありましたが、我慢をして仕事に打ち込めたこと。

3. 大きな心配事が無かったこと。

子供の成長、進学、就職、結婚等親として努力はしたが比較的順調で今日を迎えています。

4. 栄養的にバランスが取れた食事に努めていること。

5. 毎日ウォーキングをしていること。

近くにある運動公園のトラックを3周35分程度ウォーキングしています。

6. 時々病院に行き体のケアをしていること。

7. 比較的経済に恵まれていること。

苦労して共稼ぎをした結果、夫婦で厚生年金を受給でき、又、今日までの財形貯蓄により心配なく生活ができています。

8. 好奇心が旺盛であったこと。

どんな事柄でも自分であればどの様にするかを常に考えていた。つまり若返りの源になった様に思います。

9. 旅行によく行きます。

年間2回から3回海外旅行も含め60歳頃からずっと行っています。ポイントは毎月旅行費として天引き積立る（私は4万円）ことが決め手です。気分がスッキリとして、明日の活動の源になります。

以上思いつくままに綴りました、現在では腰痛で左下半身がしびれ、歩行が少し辛くなりつつあります。年相応に急激に「老いを」を実感しています。

最後になりましたがレイカディア大学並びに同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

「米寿を迎えて」

25期 園芸学科 瀬古松久

米寿のお祝いを頂き誠に有難うございます。

終戦直後に実の両親と死別し、私自身はよく米寿の歳迄生きて来られたこと感謝したいと思います。

実の両親との死別後は終戦後の「混乱」の中を世間の皆様のお力添えを得て今日まで生きさせて頂きました。

レイカディアの皆様の仲間になれた事は今もって不思議です。40年余りの会社員時代は元気でしたが、退職後は大腸がんになり切除、切除後の生活は不安ながらどうか、こうにか生きさせて貰っています。病に負けないで今後を頑張ります。



令和4年5月30日



「米寿に寄稿」

31期 園芸学科 徳地 悦朗

この度は滋賀県レイカディア大学同窓会より米寿の慶祝として記念品を戴き、ご丁寧なるご褒詞を受け賜わり誠に有難く謹んで御礼申し上げます。

私は昭和10年6月8日、京都市上京区の地で生を受け育ち、出水国民学校（現、二条城北小学校）三年生の二学期末には第二次世界大戦が敗北濃厚となる中、学校での授業もままならず空襲を避ける為、学童疎開が施行され学校ぐるみで丹波の山村（寺院）へ強制疎開、縁故の有る者は縁故疎開で京都の国民学校を離れる事となる。日増しに募る極度の食糧難に直面し、両親の郷里である滋賀県甲賀郡雲井村（信楽町）に父親の家屋があったので縁故疎開を択る事となる。以後、終戦後も京都へは戻らず、信楽町の住民となる。

「激動の昭和」の代名詞である戦中、戦後の食糧難の時代を生き抜き、3反歩有余の水田の耕作に両親を初め一家族全員が一生懸命に働き、人並みの生活が出来る様になり現在に至っております。私は67歳で会社を退職し、73歳でレイカディア大学31期生園芸学科に入学、卒業後も多くの学友に恵まれ、趣味の会等を通じて親交を深めております。退職後の長い老年を過ごす身体の処し方にレイ大で学んだ多くの事柄が大いに役立つ事に喜びを感じております。

老後の3K（健康、経済、孤独）を実践する為、次の事柄に配慮しております。

- ①金銭、食料は足りて借財なし
- ②住居は不足、不安なし
- ③子孫に恵まれ、健康を維持する
- ④身の丈に合った行動をし他人に迷惑を掛けない
- ⑤晩年を汚さず余生を楽しむ

日々心掛けを続け、幸せを享受する。

末筆になりましたが、レイカディア大学並びに同窓会の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。



レイカディア大学同窓会 甲賀・湖南支部 定期総会報告

37期 地文 村上 多津美

令和4年4月15日(金) 13:30~15:30 水口中央公民館鹿深ホールに於いて令和4年度の定期総会が開催されました。総会参加者は、役員(新旧)20名、米寿慶祝者3名、新入会員5名、一般会員6名、会計監査1名の計35名でした。

レイカディア賛歌、支部長挨拶の後、米寿者の慶祝授与が行われました。慶祝授与は例年本部定期総会で行われていたのですが、本年はコロナウイルス対策として各支部の定期総会で行うことになりました。続いて、新入会者の方々に自己紹介をして頂きました。

新入会員の 方々

あかさ ふきよかつ

赤祖父清克様(湖南省宝来坂)、

いちはらかつお

市原克夫様(水口町松尾)、

たにがわけいじ

谷川敬二様(水口町貴生川)、

いえきみゆき

家城美幸様(甲南町新治)、

たなかとしのり

田中聰徳様(甲南町深川)、欠席：竹内みゆき様
(湖南省西寺)



議事は1号議案から6号議案迄 異議なく、承認頂きました。

新役員は支部長に林 弘實(腰痛の為、欠席) 副支部長に市井 眞一と村上 多津美が指名されました。右写真の二人です。宜しくお願い致します。



閉会后、特別講演として「レイカ」(高島支部の西澤さんと当支部の秋山さん)による歌唱で楽しい時間を過ごしました。

引継ぎ、当支部 村上多津美がふれあいサロンカフェ「ふらっと」での紙芝居を実演させて頂きました。



令和4年度 県定期総会報告

37期 地文 村上 多津美

令和4年5月11日（水）13:30～15:35 長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室に於いて同窓会本部定期総会が開催されました。本年度の総会担当支部は我が甲賀・湖南支部で、朝11時から準備に取り掛かり、担当は演壇の花・受付等：松井和子、駐車場係・マイク係：高山雅史・渡辺新治・吉治孝和、司会：本田秀信、議長：市井眞一、議事録：村上多津美が務めました。

議事では、予算案に数ヶ所の誤記があり、改めて後日再提案となるハプニングがありましたが、第2部の記念講演では、議事に削られ短くなった時間の中で、落語家「てんご堂雅落」（別名：雲迎寺住職 久志則行くしそくぎょう）さんが『笑って元気にほがらかに！』と題して、我々を大いに笑かして頂きました。講演の様子はYou Tubeにアップされています。



来賓祝辞

三日月大造滋賀県知事の祝辞を代読された飯田朋子様より頂きました。

副学長 奥山光一様からは祝辞と米原校をアルプラザ彦根に移し、彦根キャンパス。草津校は、草津キャンパスとする情報を頂きました。

手前：医療福祉推進課 飯田朋子課長
演壇：レイカディア大学奥山光一副学長



【経歴】京都産業大学卒業後2年間のサラリーマン生活を経て、1988年に大学の先輩笑福亭鶴瓶に弟子入り。瓶太の名でお茶の間に親しまれたが、2016年に一門を離れ、てんご堂雅楽に改名。3年間の仏道修行は2019年12月に終了。56歳で晴れて僧侶となり、「無住寺」状態だった雲迎寺の第20代住職に就くことになった。



HP管理班による、画面に映し出された総会リモート参加の様子

支部体育部の活動予定

38期 園芸B 吉治 孝和

こんにちは令和4年度の体育部の事業予定です。

今年度も年に2度のグランドゴルフを計画しています。

第1回は7月1日金曜日に野洲川グランドゴルフ場で予定しています。

第2回は10月中旬に行う予定です。

初心者歓迎 どなたでも気軽に参加してください 豪華商品?!も用意しています。

昨年秋のグランドゴルフ大会参加者の皆さま



事務局 吉治孝和 ☎ fax 0748-88-5757

☎ 090-3169-8633 メール t-yoshiji@ac-koka.jp

＜里山ハイキング同好会報告＞

三井寺、近江神宮ハイキング

31期 高山 雅史

令和4年4月11日春のハイキングを三井寺、近江神宮散策で実施しました。

今年は桜の開花が1週間ほど早く30%ほどで葉桜。三井寺駅へ集合して9:06スタートしました。

駅前から琵琶湖疎水に沿って西へ行き、左折して三井寺の観音堂前への長い石段を登り西国14番札所に着きました。高台から琵琶湖の展望を楽しみました。左の道から墓地を通り抜けて金堂に出ました。ここは秀吉の正室北の政所により再建されたもので大きな檜皮葺きの屋根を持ち、威容を誇っています。この中の本尊の弥勒菩薩や平安時代から鎌倉時代にかけての諸仏像にお参りして仁王門から外に出ました。

この門は湖南市の石部の常楽寺に元あったもので、後に秀吉によって伏見に移され、慶長6年(1601)に家康によって現在地に建てられたものです。古色蒼然として表門にふさわしい風格を持っています。

仁王門を出て左へ道なりに歩きます。滋賀県警察学校の威勢の良いランニングの声に送られて坂道を歩き、大津市歴史資料館の裏道に入りました。雑木林の山道の入口には東海自然歩道の標識があり自然歩道の一部になっていることがわかります。ハイキングにふさわしい山道のアップダウンのあと、石を敷いた階段を下ります。新羅善神堂へ左折の標識通り石段を登るとすっきりとした新羅善神堂(国宝)に着きました。平安時代、源頼義の三男義光がこの社前で元服し新羅三郎義光と称したことから三井寺は源氏一門及び足利氏の尊崇を集めるようになりました。この室町時代初期建築はきれいに整備されていました。

47号線を出てさらに北へ向かい、皇子が丘公園の信号を北へ登り公園に着きました。

上部の駐車場で再び琵琶湖の遠望を楽しんだ後、トイレのある芝生広場の花の盛りが残る桜の近くで昼食としました。

ゆっくり休息をとり47号線を北へ近江神宮に向かって歩くと途中近江大津宮遺跡があります。天智天皇(626~671)が1300年以上昔奈良の飛鳥から遷都した大津宮跡といわれている所です。芝生の跡だけですが巨大な柱跡と門跡、建物を囲んだ柵列、倉庫群が発掘され、今は埋め戻されています。

47号線から近江神宮参道に入ります。楼門をくぐり外拝殿、内拝殿を登り本殿に入りました。外拝殿の日時計では季節調整リンク付きのためか実際の時刻とぴったりです。これより47号線に戻り京阪近江神宮駅からJR草津線に乗り継いで帰途につきました。

快晴であり風もなく穏やかで気持ちのいいウォーキングでした。



レイ大同窓会 甲賀・湖南支部グランドゴルフ同好会

世話役 吉浩 孝和

現在の同好会 会員数は26名です。

会の目的は大会を通じて親睦を深め健康づくりをすることです。

年間に6回グランドゴルフ大会を開催して楽しんでおります。

当日都合がつけば何時でも参加 OK です。事前の予約も要りません

入会手続きは大会当日又は事務局に申し込みをお願い致します

※ 事務局 吉浩孝和 ☎ fax 0748-88-5757

☎ 090-3169-8633 メール t-yoshiji@ac-koka.jp

《令和4年度の年間予定と会費》

基本的には偶数月の第3金曜日当日が雨天の場合は

1週間後の第4金曜日

プレイ開始時間は午後1時30分、集合時間は午後1時15分

年会費は500円 当日会費は400円

用具のない方は事前にご連絡いただければ確保します。

会場は、水口町の野洲川グランドゴルフ場 (0748-63-7044)

詳しくは大会の都度 ハガキかメールにて連絡致します。

皆様の参加をお待ちしております!!



*** 編集後記 ***

甲賀・湖南支部機関紙「支部だより33号」を無事発刊する事が出来ました。投稿戴きました同窓会員の皆様方のお陰と感謝申し上げます。我々の文化広報部もこの4月より新たなメンバーで取り組んでおります。

同窓会活動を幅広く会員の皆様に知って頂き、会員皆さんの親睦を深められる機関紙となることを念頭に今後とも会員の皆様のご意見や投稿をお待ちしています。

令和4年度 文化広報部一同

*** 広報部 3名のメンバー です。どうぞよろしくお願いします ***



北近江 40期 / 地文 31期 / 健康 38期
時 信 治 高 山 雅 史 森 田 春 治